

# 2016 年度学習院大学東洋文化研究所 プロジェクト研究年次報告会

日時:2016 年 6 月 3 日(金)15:00~17:50

会場:学習院大学中央教育研究棟国際会議場(12F)

## 第1部 2015 年度「東アジア学」共創プロジェクト研究報告

15:00~15:55

### ■隋唐政権形成下における門閥の研究—弘農楊氏を中心に—

堀井 裕之 (元・陝西師範大学歴史文化学院高級進修生)

### ■日唐厩牧令の復原・比較からみる唐代・日本古代の交通体系

河野 保博 (京都造形芸術大学非常勤講師)

## 第2部 東洋文化研究所 プロジェクト報告

16:05~17:50

### 2015 年度 終了一般研究プロジェクト

A14-1 東アジアの家族・地域社会による高齢者の保護

代表研究員 岡 孝・法学部教授

### 2016 年度 一般研究プロジェクト

A15-1 親族法・相続法における当事者間の合意の効力—東アジアの比較家族法研究—

代表研究員 稲田 龍樹・法科大学院教授

A15-2 アジア諸国における生産性動向の比較研究

代表研究員 宮川 努・経済学部教授

A15-3 日本近世から近代における〈国家〉意識の文化的諸問題とアジア

代表研究員 遠藤 薫・法学部教授

A15-4 ベトナム・阮朝アーカイブズに関する基礎的研究

代表研究員 武内 房司・文学部教授

A15-5 日本とアジアにおける小学校低学年の自然・生活・伝統文化に関する指導の実態比較

代表研究員 嶋田 由美・文学部教授

A16-1 アジアの高等教育における CLIL (内容・言語統一型学習) の応用と実践

代表研究員 入江 恵・国際社会科学部教授

A16-2 タイの若者に人気の日本の文学作品の潜在的意味の日タイ比較

代表研究員 白田 由香利・経済学部教授

## 東アジア学アーカイブズプロジェクト

(代表者:杉田善弘・東洋文化研究所長)

- ・朝鮮総督府関係者録音記録資料セクション セクションリーダー 岡 孝・法学部教授
- ・東洋文化研究所所蔵漢籍の調査 セクションリーダー 大澤 顯浩・外国語教育研究センター教授
- ・「小倉進平関係文書」の日本語学・言語学上の基礎的調査 (2015 年度)
- ・「小倉進平関係文書」の日本語学・言語学関係資料・原稿の調査 (2016 年度)  
セクションリーダー 安部 清哉・文学部教授

## 新規重点施策(戦略枠)事業報告

- ・昭和初期の東アジア資料の研究資源化と公開 代表研究員 杉田 善弘・東洋文化研究所所長

## 昭和会館助成金事業報告

- ・日本・中国・韓国における歴史認識形成に及ぼすコンテンツの比較研究  
代表研究員 辻 大和・東洋文化研究所助教

## 2016 年度 学習院大学東洋文化研究所「東アジア学」共創研究プロジェクト

C16-1 迎日・冷水里碑、蔚珍・鳳坪里碑を中心とした出土文字資料による 6 世紀新羅の研究

客員研究員 橋本 繁 (早稲田大学・非常勤講師)

(受入研究員: 鐘江 宏之・文学部教授)

C16-2 漢末から三国魏に至る節: 中国古代・中世における地方軍事制度研究

客員研究員 野口 優 (京都大学・非常勤講師)

(受入研究員: 鶴間 和幸・文学部教授)

主催 学習院大学 東洋文化研究所

お問い合わせ先 学習院大学東洋文化研究所

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1 (学習院大学内北 1 号館 4 階)

TEL: 03-5992-1015 (直通)・内線 6360 FAX: 03-5992-1021

E-mail: ori-off@gakushuin.ac.jp HP: <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc/>